

令和6年度の学校経営に当たって

1 学校経営の基盤

【学校の創立】

平成27年4月1日、由利本荘市の旧大内中学校と出羽中学校（どちらも旧大内町）が統合され、新しく「由利本荘市立大内中学校」として開校した。今年が開校10年目の年であり、この9年間で創ってきた校風を生かしながら、新たな伝統づくりに挑戦する。

【地域の概要】

- (1) 豊かな山林資源に恵まれ農業の盛んな地域であるが、精密電気部品を扱う誘致工場や建設業を営む地元企業、林業を営む企業もある。農村部あり、商店街あり、新興住宅地ありと、保護者の職業や生活様式も多様である。65歳以上の高齢者の割合が40%を超え、少子高齢化が進んでいる。
- (2) 日本海東北自動車道大内JCT付近には、あきた総合家畜市場や市総合体育館、道の駅などの施設が整えられており、人々の往来や物流が盛んな地域である。
- (3) 保護者や地域住民は、学校運営に対して非常に協力的であり、PTA活動や奉仕作業等にも積極的に参加する。日々の生徒に対する声掛けも積極的であり、地域総ぐるみで生徒を見守り、学校の教育活動を温かく支援している。

【生徒の実態と重点課題】

- (1) 「あいさつ日本一」が生徒・教師・保護者・地域で意識されている。明るくあいさつができ、温和で礼儀正しい生徒が多い。地域の方々より、あいさつについて賞賛していただいている。
- (2) 規範意識が高く、生徒会活動や係活動、清掃などに、周囲と協力しながら実直に取り組む。
- (3) 生徒会活動や行事等の活性化により、生徒相互の関係性が高まり、対話的・協働的な学びが本校の強みである。その一方で、自己肯定感や自己有用感の育成が課題である。
- (4) 学校評価によると、多くの生徒と教師、保護者は、生活・学習改善を課題として捉えている。

重点課題

- (1) 生活・学習に対する意欲と改善能力の向上
- (2) 自己肯定感・自己有用感とチャレンジ精神の育成
- (3) 生徒と教師、生徒同士、教師同士の信頼関係の構築
- (4) 社会的自立につながる基礎的・汎用的能力の育成
- (5) 学力の定着と向上

2 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標

人間性豊かに たくましく生き抜く生徒の育成

～「あいさつ日本一」への挑戦を通して行動力を育む～

(2) 校訓と目指す生徒像

- 『自立』 自ら考え自ら判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
- 『協調』 思いやりの心を持ち、集団生活の向上のために協力する生徒
- 『躍進』 たくましい心と体を持ち、常に自らを高めるために挑戦する生徒

(3) 目指す学校像 … 生徒も教師も生き生きと力を発揮できる学校

- ① 明るくあいさつが響き合い、一人一人が尊重され、個性を伸ばせる学校
 - ② 目指す生徒像を具現化し、生徒の自立を促す学校
 - ③ 地域に開かれ、保護者、地域との協働で生徒の成長を支える学校
 - ④ 地域と交流し、地域に学び、地域に貢献する学校
-

(4) 目指す教師像 … 生徒理解を深め、寄り添い、支え、導く教師

- ① 生徒愛に満ち、指導力の向上に努め、生徒と信頼関係を築ける教師
- ② 温もりと優しさ、厳しさの調和がとれている教師
- ③ 生徒をよく理解し、生徒目線に立って寄り添い、支え、よりよい方向に導く教師
- ④ 保護者や地域から信頼され、協働して問題解決に当たる教師

3 本年度の経営の重点

(1) 安全・安心の保障と意欲の向上

- ① 授業づくりと学級づくりの一体化（「生徒指導の実践上の視点」を生かした授業、授業における居場所づくり・絆づくり・活躍できる場づくり）
- ② あいさつ日本一への挑戦を通じた信頼関係構築と、尊重し支え合う学校風土の醸成
- ③ 生徒の承認欲求・所属欲求を満たす取組による自己肯定感・自己有用感の育成
- ④ 個や集団に対する「考えさせ、気づきと行動を促す生徒指導」を通じた、生活・学習意欲と軌道修正を重ねる力の向上（自己指導能力の獲得）
- ⑤ 道徳教育・特別活動の活性化を要とした人間性と社会性、行動力の育成

(2) 確かな学力の定着と向上

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ② 生徒が「分かった・できた、なぜ、もっと学びたい」を実感できる授業づくり
- ③ 「思考力・判断力・表現力」を高める言語活動の充実（考えをもち、交流する場の重視）
- ④ 教科等の見方・考え方を鍛える授業と、「習得・活用・探究」の学習過程の工夫
「課題設定・見通しー自力解決・学び合いーまとめ・振り返り」
- ⑤ 「探究」過程における学習活動の構築（自己選択・自己決定に基づく課題選択等）

(3) 保護者・地域と共に歩む学校

- ① 積極的な情報発信と開かれた教育課程の推進
- ② 生徒、教師、保護者、地域による学校評価と成果・課題の共有
- ③ 保護者・地域と一体となって生徒の成長を支える学校づくり
- ④ 地域人材・素材の積極的な活用による「地域に根ざしたキャリア教育」の推進
- ⑤ 地域を舞台にした学びの充実と、持続可能な社会の創り手となる資質・能力の育成